



～渡良瀬遊水地～ 自然紹介



2026.3.23

春

の風物詩である『渡良瀬遊水地ヨシ焼き』が3月7日に行われました。火入れ時間になると富士山がくっきり見えた空には続々と煙が立ち上りました。火が納まるとイノシシたちは走り、猛禽類たちは獲物がいないか空を飛び回る姿が見えました。これから本格的な春シーズンのスタートです！



令和七年度
渡良瀬遊水地ヨシ焼き





コブシ開花



谷中ブロック

ノウルシの芽吹き



オカヨシガモ



シメ



ハクモクレン



ユキヤナギ

コウノトリの抱卵時期が到来！

ここ最近、巣塔にはペアのコウノトリを見かけることが多くなりました！巣塔の中でコウノトリがうずくまっている時間が長い時は抱卵している可能性があります。そんな状況の場合は、遠くから温かく見守りましょう！



コウノトリの観察マナー

(参考：兵庫県立コウノトリの郷公園作成「コウノトリ飛来・繁殖時の対応パンフレット」より)

- 1) 静かに見守る
コウノトリを驚かさぬようにやさしく静かに見守りましょう。コウノトリの観察・撮影等は、コウノトリが遠ざかったり、飛び立ったりしないように、150m以上(自動車の中からは100m以上)離れましょう。
- 2) 地域に迷惑をかけることはやめる
コウノトリは集落周辺の水田、草地、河川、水路などで餌をとり、電柱や人工巣塔上に巣をつくり、無断で私有地や農地に立ち入らないようにしましょう。また、農道や林道に駐車して通行の妨げにならないようにしましょう。
- 3) 繁殖期には巣に近づかない
2月から7月はコウノトリの繁殖期です。この時期に人が近づくと、巣づくりや子育てに悪影響を与えることがありますので、コウノトリの巣には近づかないようにしましょう。
- 4) 餌をあげない
野外で生活するようになったコウノトリは、「野生動物」です。野生復帰の目標のひとつである、野外でのコウノトリの自活、存続可能な野生個体群の確立のためにも、餌やりをしないようにしましょう。一度、野外のコウノトリに人間が餌を与えてしまうと、自分で餌を探さなくなるだけでなく、人間を攻撃したり、交通事故に遭ったり、「人間と動物の共通感染症」の媒介者となる恐れがあります。

※遊水地内ではイノシシも目撃されております。観察する際は十分ご注意ください。